

令和7年度 第4回湖西市水道事業経営審議会 議事要旨

1. 日 時：令和8年3月16日（月）15：00～15：40

2. 場 所：湖西市役所3階委員会室

3. 出席者

委員長)

愛知大学地域政策学部 教授： 菊地 裕幸 氏

委員)

豊橋技術科学大学大学院工学研究科建築・都市システム学系 教授： 井上 隆信 氏

一般社団法人地方公会計研究センター 理事： 玉澤 一雄 氏

有限責任監査法人トーマツ マネージャー： 今瀬 彰夫 氏

事務局)

湖西市環境部上下水道課

株式会社東京設計事務所

4. 概 要

1) 委員長挨拶

2) 議事要旨

事務局からパブリックコメント結果及び答申書（案）についての説明を行った後、答申内容を決定した。

1. パブリックコメント結果について

事務局 パブリックコメントでは意見がなかった。湖西市新水道ビジョン中間見直しの内容を手元資料のとおり策定する。最終承認をいただきたい。

委員 承認する。

2. 湖西市水道事業経営審議会の答申内容の決定について

委員 技術職員の減少により業務執行体制が制約を受けているという記載があった。制約が解消できるよう、技術職員の確保に努めていただきたい。

事務局 全国的に技術職員が減っている状況である。新技術の活用、WPPP等も含め検討し、管路更新は毎年1%を目標に行うなど、強靱化に向けて取り組む。

委員 ビジョンの中間見直し内容について、市民に理解いただく場を設ける必要がある。パブリックコメントを掲載したウェブサイトの閲覧数等は把握しているか。

事務局 閲覧数は未把握である。ウェブサイトトップや広報紙に掲載することで周知を行ったが、パブリックコメントで意見を得られなかったため、手法については検討の余地がある。今後、市民への報告方法としてWEB会議の活用等を検討していく。

委員 今回の経営戦略の部分には、料金改定の件も含まれている。市民に負担いただく部分であるため、市民から意見をいただけるような報告会等を目指していただきたい。ビジョンの内容は冊子も分厚く内容も多くなっているため、会議の場や市民が活動する場等で報告していただけるとありがたい。

委員 市民がビジョン冊子を読んで意見を出すのは難しい。要点を抜粋した資料があれば意見を得やすいのではないかと思う。また、料金改定についてはあくまで試算である点を住民へ丁寧に説明し、進捗に応じて5年ごとに定期的に見直すことをしっかり伝え、数字だけが一人歩きしないよう留意いただきたい。

事務局 市民への計画の伝え方について検討する。

委員 それでは、湖西市新水道ビジョンの見直しについて、審議会として承認するという
ことでよいか。

全委員 異議なし。

3. 全体を通しての意見

委員 答申書の内容について、事務局では具体的な施策として実現していただきたい。「技術職員の確保」や「市民への報告会」等をしっかり進めていただきたい。料金改定はやむを得ない事であるが、市民の状況を把握した上で改定いただきたい。水道料金についてのQ&Aを作成する等、市民目線に立って分かりやすく説明いただきたい。

委員 全国的に老朽化した資産を更新するためには料金改定を行わなければならない状況である。今後も先頭に立って取り組んでいただきたい。

委員 見直しで「できている部分・できていない部分」が明確化された。これで終わりではなく、ビジョンに沿って推進し、時代変化に応じて臨機応変に対応してほしい。

委員 湖西市はスマートメーター、漏水調査、県を越えた共同調達など先進的な取り組み

を行っている。引き続き先進的な取り組みを続けていただきたい。また、維持管理費や工事費の増加等のため、水道料金の値上げはやむを得ない部分がある。市民理解を得ながら進め、結果の比較を行う中で乖離が生じた場合は見直しを繰り返すことが重要である。

委員 湖西市のこれからの水道事業について、「安全・強靱・持続」を第一として、引き続き市民ファーストで取り組んでいただきたい。

以 上